

学校ホームページでは
カラー版で見られます。

学校だより
No.13

月にみがきて

H20. 10. 31

更級小学校

曇り空でしたが、「さらしなの里」で、子どもたちは大活躍できました。また、まつりに協力してくださったPTA 保護者の皆様方、ありがとうございました。今回は「縄文まつり特集」です。

6年生の鼓笛パレードが終わったとき、「子どもたちがいるとにぎわいがある、やっぱりいいね。」と声をかけられました。楽器も演奏する曲も縄文時代とは遠く離れていますが、祭り開始を知らせ、雰囲気盛り上げつつ現代と縄文時代の橋渡しをしているようにも思えました。



開村式の村長こと「さらしなの里友の会」豊城会長さんの挨拶では、子どもたちが決めた参加テーマのことなど取り上げ、学校の協力に感謝のことばをいただきうれしく思いました。暖かい気持ちで子どもたちの活動や仕事ぶりを受け止めてくださるスタッフの方々の配慮で、子どもたちは本当に楽しく、のびのびと活動に参加していました。

火起こし、豊穰儀礼、と順調に活動は進み、ジャンベ演奏に今年参加した皆さんも短い期間でしたが素敵な演奏でした。



午後の縄文芸能村に参加した4年生。大きな声で劇の内容を観客のみなさんにしっかり伝えようと演技していたことはもちろん、シナリオには自然や資源を大切にするメッセージが込められている作品が多く、縄文時代は自然環境とうまくつき合っていた時代であったというメッセージをしっかりと伝えてくれました。

閉村式の「縄文のうた」も子どもたちが周りをリードして歌う役割ができて、また縄文まつりに新しい1ページに参加することができました。子どもたちにすばらしい一日を提供して下さった縄文まつりを続けているスタッフの方々にあらためて感謝します。

美しい歌声があんずホールに響きました。10月30日



休憩後、稲荷山養護学校の素敵な演奏の後で登壇した6年生39人。沖縄のメロディーに乗せて、美しいハーモニーが響き始めました。演奏の最後までその美しさがとぎれることがなく、声の出し方や、平和を願った2つの曲「島唄」「平和の鐘」についてのそれぞれの思い入れの深さから、今までの熱心な練習の様子が想像できるすばらしい演奏でした。6年生さすがです。

